

Maquet Volista VisioNIR

NIR* カメラを使った蛍光ガイド手術へも対応できる 手術用照明器

近赤外蛍光イメージングは、センチネルリンパ節、悪性細胞、石灰化など、切除が必要な組織を識別する際に問題となるさまざまな臨床ニーズに対応すると同時に、神経、血管、管、リンパ、腺など、他の組織や構造への干渉を回避し手術リスクを低減することが期待される手法のひとつです¹。Maquet Volista**に搭載されているVisioNIR照明モードは、手術スタッフが手術用照明器をオン/オフの切り替えをしなくても、明るい環境下で近赤外蛍光イメージングを用いた蛍光ガイド手術が行えるようサポートします。



*近赤外光

**StandOPバージョンのみのオプション

参考

¹ Image-Guided Surgery using Invisible Near-Infrared Light: fundamentals of Clinical Translation, S. Gioux and al. Mol Imaging. 2010 October; 9(5): 237-255

手術用照明器をつけたままで蛍光ガイド手術を！ どちらかを選ぶ必要はありません

- ・ 蛍光ガイド手術を行う際に、手と目による同時作業を向上させ、術者の動作をより明確にガイドする強力なソリューションとなります。
手術用照明器のオン/オフを切り替える必要がありません。
- ・ 外科医は手術中の患者に集中でき、スタッフの操作作業も軽減することができます。
- ・ 手術中は手術用照明器を点灯させておくことができるので、作業を中断させることなく、手術に集中することが可能です。
- ・ 手術用照明器をオンに保つことにより、手術室環境の視認性が向上します。
- ・ 色温度変換機能との同時動作：インドシアニングリーン（ICG）および NIR カメラを使用している間、外科医は好みの色温度で操作できます。VisioNIR エンハンサー機能は、画面のコントラストを改善し、自動蛍光に対応します。
- ・ 手術用照明器のパラメータを標準モードのように保ち、演色性が良く、無影性や調光性に変化はありません。



ソリューション：独自のフィルター付き照明モード

Maquet Volista StandOP 用に開発されたフィルターホイールにより、LED から放出された光は残っている NIR 波長を減らすためにフィルター処理されます。それにより、手術用照明器による蛍光信号の乱れがなくなりました。

Maquet Volista VisioNIR は、手術室内で NIR ガイド手術用カメラと同時に使用することができる機能を備えています。



GETINGE 

ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社

サージカルワークフローズ事業部

〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8 スフィアタワー天王洲23F

TEL: 03-5463-8313 FAX: 03-5463-6856

第一種医療機器製造販売業許可番号: 13B1X00176

www.getinge.com/jp

Getinge は、すべての人と地域社会が最善のケアを受け得ることを願い、病院やライフサイエンス関連施設に、臨床結果の向上と最適なワークフローの実現を達成する製品・ソリューションを提供しています。その領域は、集中治療、心臓血管手術、手術室、滅菌再生処理、ライフサイエンスといった多様な領域にわたります。Getinge は、世界で10,000人以上の従業員を擁し、製品・ソリューションは135か国以上の国で使用されています。

販売名：ヴォリスタ

一般的名称：手術用照明器

製造販売届出番号：13B1X00176SW0039

医療機器の分類：一般医療機器

特定保守管理医療機器

設置管理医療機器

MSWOL-38-01

Maquet Volista VisioNIR

2021.10.1000.P (Original 06/21)

※仕様は予告なく変更することがあります